

# 国立国会図書館月報

稀本あれこれ-461- 明朝紫硯	
第14回アジア・オセアニア地域国立図書館長会議および	
第13回東南アジア図書館人会議に参加して =坂本 博	• 1
新指定貴重書および準貴重書について	
—第38回貴重書等指定委員会—	• 4
和書の部	• 4
洋書の部	• 11
-----	
本屋にない本	• 12
国立国会図書館の編集・刊行物	• 12
館内スコープ	• 14
月例報告	• 15
関西館の資料紹介 (7)	• 25
本を魅せる 常設展示案内 (20)	
「本屋にない本」から一納本制度が可能にする資料収集—	• 26
-----	
<お知らせ>	
常設展示のお知らせ	• 14
<ご案内>	
平成18年度 児童文学連続講座	
—国際子ども図書館所蔵資料を使って	• 16
第10回 資料保存研修のご案内	• 17
平成18年度 資料電子化研修	• 18
<お知らせ>	
WARP が事業化され、収集コンテンツ内容本文の検索が	
可能となりました	• 18
展示会関連ギャラリートークの開催について	• 19
8月18日の国際子ども図書館の閉館時間が変わります	• 19
電子展示会「史料にみる日本の近代」の提供開始	• 20
利用者アンケート調査へのご協力をお願い	• 21
国立国会図書館における省エネルギー対策について	• 21

7

2006

No. 544

# 国立国会図書館利用案内

**東京本館** 〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1  
電話 03 (3581) 2331  
利用案内 電話 03 (3506) 3300 (音声サービス)  
電話 03 (3506) 3301 (FAX サービス)

**関西館** 〒619-0287 京都府相楽郡精華町精華台8-1-3  
電話 0774 (98) 1200 (音声サービス)  
利用案内 電話 0774 (98) 1212 (FAX サービス)

ホームページ <http://www.ndl.go.jp/>

**利用できる人** 満18歳以上の方

**資料の利用** 館内利用のみ。館外への帯出はできません。

**開館日** 月曜日から土曜日

**休館日** 日曜日、国民の祝日・休日、年末年始、資料整理休館日（第3水曜日）

**所蔵資料** 当館の所蔵資料は、納本、購入、国際交換、寄贈等によって収集され、東京本館、関西館、国際子ども図書館に分散して配置されています。

<東京本館のおもな資料>和洋の図書、和雑誌、洋雑誌（年刊誌、モノグラフシリーズの一部）、和洋の新聞、各専門室資料

<関西館のおもな資料>和図書・和雑誌・新聞の一部、洋雑誌、アジア言語資料・アジア関係資料（図書、雑誌、新聞）、科学技術関係資料、文部科学省科学研究費補助金研究成果報告書、博士論文

## ----- 東京本館のサービス時間 -----

**開館時間** 月～金曜日 9:30～19:00 土曜日 9:30～17:00

※ただし、音楽・映像資料室、憲政資料室、古典籍資料室の開室時間は17:00までです。

**資料請求時間** 月～金曜日 9:30～18:00 土曜日 9:30～16:00

※ただし、音楽・映像資料室、人文総合情報室特別コレクション、憲政資料室および古典籍資料室の資料請求時間は16:00までです。

**即日複写受付** 月～金曜日 10:00～18:00 土曜日 10:00～16:00

**後日複写受付** 月～金曜日 10:00～18:30 土曜日 10:00～16:30

**オンライン複写受付** 月～金曜日 10:00～17:30 土曜日 10:00～15:30

## ----- 関西館のサービス時間 -----

**開館時間** 10:00～18:00 **即日複写受付** 10:00～17:00

**資料請求時間** 10:00～17:15 **後日複写受付** 10:00～17:45

**セルフ複写受付** 10:00～17:30 **オンライン複写受付** 10:00～17:00

※詳しくは当館ホームページをご覧ください。

稀本紫硯之札

(461)

明朝紫硯



〈請求記号 WB 1-18〉 大きさ縦約27cm



〈請求記号 丑-48〉 大きさ縦約26cm

## 明朝紫硯

『明朝紫硯』（版心書名は「明朝生動物園」）は、我が国ではじめて作られた色刷りの画譜である。彩色には、木版色刷りと、型紙を用いた合羽刷りの両方が用いられており、版画史上貴重な資料でもある。当館所蔵の二本を紹介する。

**写真上**（請求記号 WB1-18）は準貴重書。上中二巻二冊。康熙綴。黄土色表紙に「明朝紫硯 上（中）」と刷題簽が付される。書名はここから採った。中巻の末に「延享三丙寅歳夏四月上旬法眼春ト一翁圖寫彫刻 村上源右衛門下巻一冊 嗣出江都書肆 西村源六浪華書肆 澁川清右衛門同 松村九兵衛同 大野木理兵衛」と奥付けがある。延享三年（一七四六）に大岡春ト（一六八〇〜一七六三）により描かれた。春ト、名は愛董。雪静、一翁なども号した。大坂の狩野派を代表する画家で『画本手鑑』『和漢名画苑』などいくつかの画手本類を描いた。宝暦一三年に八四歳で没す。村上源右衛門は『画本倭比事』も担当した彫師。出版者として江戸と大坂の四名の書肆が名を連ねる。なお、実見していないが、相見香雨（一八七四〜一九七〇）氏が所蔵した本は中巻一冊のみで、奥付けの書肆は澁川清右衛門と大野木理兵衛の二名ということであるから、そちらのほうが先の刊行であろう。また「下巻一冊 嗣出」とあるが、『享保以後大阪出版書籍目録』には、延享四年一月に板元として澁川清右衛門が「明朝紫硯 一冊」の出版願いを出した記録があるので、下巻は刊行予定であったらしい。当館本と同時期と思われるものは大英博物館所蔵の一本のみであるが、やはり上中二巻二冊。すなわち、早い時期の製作本には下巻はない。しかし、その繊細で優美な色彩が鑑賞者を魅了する美しい稀覯本である。

『明朝紫硯』は、春トの自序によれば、明代に集められた名画の花を、文徵明（一四七〇〜一五五九）以下六名の画家が描いたものを模写したという。だが、個々の図の作者名や添えられた漢詩は異なるものの、上中二冊に描かれた花（全五九図）のほとんどは、『芥子園画伝』二集「梅譜」や、三集「草虫花卉譜」にある図と酷似することはよく知られている。春トは『芥子園画伝』の外に、どのような舶載中国書を目にしていたのであるうか。

掲載図（上巻一四丁裏一五丁表）は、山百合と露草。百合の花の輪郭や黒い珠芽、葉脈などは墨版、オリブ色の葉や雌しべは色版で、木版は二版。露草の花や葉は合羽刷りである。かたまり褪色しているが、当初は百合の葉はくすんだ青緑、露草の花は冴えた青色、黄色い葉は瑞々しい萌黄色ではなかったかと想像する。「徵明」の下には朱の落款が押してある。

**写真下**（請求記号 丑一四八）は、文化九年（一八一二）に京の菱屋孫兵衛が求板した後刷り本の一つ。後刷り本は多いが、個々の刷りの違いなどの比較調査は未だなされていない。当館本は奥付けに「和漢畫圖譜翻刻書物所 京都書肆 御幸町御池南 菱屋孫兵衛」とあるもので、刊年はない。木版多色刷りで製作されている下巻一冊が加わり、三巻三冊。康熙綴。山吹色表紙。それほど変色はしていない。上中巻は前からの板木を踏襲しているで木版部分は上の写真と一致する。けれど、露草の花の位置や葉の形など、合羽刷りの部分が違っていている。落款も省かれている。

（問島 由美子）

# 第一四回アジア・オセアニア地域国立図書館長会議および 第一三回東南アジア図書館人会議に参加して

坂本博

二〇〇六年三月二十五日から三〇日まで、フィリピンの首都マニラにおいて第一三回東南アジア図書館人会議 (Congress of Southeast Asian Librarians CONSAL) が開催された。この間の二六日には第一四回アジア・オセアニア地域国立図書館長会議 (Conference of Directors of National Libraries in Asia and Oceania CDNLAO) が開催された。この両会議に参加したのでその報告を行う。

## CDNLAO

一九七九年にアジア・オセアニア地域の図書館間の相互協力を目的として発足したCDNLAOは、二〇〇〇年の第八回会議以降は毎年開催されて今日に至っている。

今回はインドネシア、オーストラリア、韓国、カンボジア、シンガポール、スリランカ、中国、日本、ニュージーランド、ネパール、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシアの一四か国が参加した。日本からは筆者が黒澤隆雄国立国会図書館長の代理として出席した。

CDNLAOは三月二六日の午後マニラのリッチモンド・ホテルでCONSAL組織委員会委員との合同昼食会が始まった。会議自体はフィリピン国立図書館長クルツ氏の主宰で次のように進んだ。

## CDNLAO日程表

1. 歓迎の辞  
フィリピン国立図書館長
2. 議事日程の確認
3. 第13回会議議事録の確認
4. 各国の図書館情勢報告
5. 特別報告
  - ・シンガポールの新しい図書館サービス
  - ・世界情報社会サミット報告
  - ・IFLA (国際図書館連盟) ソウル大会へのいざない
  - ・フィリピンの電子図書館計画
6. 決議
7. 次回以降の開催地決定
8. その他
9. 閉会の辞

日程表4の各国の図書館情勢報告 (Country reports) は、情報の少ないアジア・オセアニア諸国の最新の図書館事情を知ることができる貴重なものである。当館からは、平成一七年度の活動、特色あるコレクション、書誌・索引の刊行、デジタル図書館サービス、実験的サービス、国際子ども図書館の読書推進活動、対図書館貸出、遠隔利用の複写サービス、資料国際交換、文献録音サービス、施設の検討、今年のIFLA大会関係のイベント計画を報告した。日本の図書館界について、図書館数、新規開館数、蔵書数、

貸出数、図書館員数、図書館教育コース数、関係団体数、著作権センター数、インターネット利用者数を報告した。他国からもおおむね同様の報告が行われた。

日程表5の特別報告では、シンガポールと韓国の報告が特に印象に残った。前者は、最近建設されたシンガポール国立図書館を中心とした二〇一〇年までの図書館サービスの意欲的な発展の道筋を示したものであり、後者は議事日程に急遽組み込まれたもので、今年の夏のソウルにおけるIFLA大会の魅力を訴えるものであった。

日程表7では、二〇〇八年が当館開館六〇周年に当たるので記念行事としてCDNLAOの日本開催を提案し、受諾された。ちなみに二〇〇七年はインドネシアで、二〇〇九年は第一四回CONSALと同時にベトナムで開催されることが決定された。閉会后、CONSAL組織委員会、同会議報告者との合同夕食会がクラウンプラザ・ホテルで行われた。

## CONSAL

二五日にプレコンファレンスおよびワークショップ二件がテラサレ大学で行われたほかは、二七日の開会式から三〇日の図書館・文化探訪の集合までエドゥサ・シャングリラホテルが会場となった。

これは、三年に一度の行事であり、二七日の開会式も趣向が凝らされていた。一九七〇年に設立したCONSALの現在の構成国はインドネシア、カンボジア、シンガポ

ル、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオスの一〇か国である。各国の国旗を先頭に代表団の入場行進が行われた。フィリピン大学音楽学部長がフィリピン国歌を独唱し、記念の創作舞踊が披露された。開会宣言はフィリピン図書館員協会会長である。外務大臣の祝辞が代読された。同時に開催された図書館・出版フェアのテープカットは、来賓であるIFLAの会長が行った。参加者は前回(二〇〇三ブルネイ)の四〇〇人、前回(二〇〇〇シンガポール)の六〇〇人から大幅に増加し最終的には一、二〇〇人以上と報告された。

二七日の午後から報告会が始まった。二八日の午前中までが全体会である。全体会のテーマは、二七日が資源共有、二八日が資料保存と著作権であった。二七日の夜は、CDNLAOメンバーと組織委員会の夕食会が民族舞踊の披露と共に行われた。

二八日の全体会のトップバッターとして当館から「東南アジアにおける保存ニーズとIFLA/PACアジア地域センター」について報告を行った。内容は、IFLA/PAC ACアジア地域センターの最近の活動、IFLA/PACの最近の防災活動、当館で開かれたアジアIFLA/PACセンター長会議、東南アジアにおけるアジア地域センターの協力、資料保存に関するIFLAソウル大会プレコンファレンスの東京での開催についてであった。聴衆の関心も高く、多くの質問を受けた。

この二日目の全体会では、他にシンガポール国立図書館



の資料保存とアクセス計画、サラワクの文化遺産、フィリピン文化遺産の保存、知識の共有、文化遺産の共有―地域デジタル化計画、ビルマの知的所有権法、著作権法と関係諸法―フィリピンの図書館サービスへの示唆、の報告があった。

二八日の午後は、図書館専門職、図書館教育、研修・人材開発の三つの分科会に分かれて報告会が行われた。夜は前日と同じ顔ぶれで、マニラホテルで夕食会、マッカーサー將軍の居室の見学、夕陽の美しさで有名な海岸の散策を行った。二九日午前はプログラムにはアバンギャルド・セッションと書かれ、三会場に分かれて図書館現場からの実践報告が行われた。午後はCONSALの総会、閉会式、参加者全員の夕食会、カルチャー・ナイトが行われた。カルチャー・ナイトでは、いくつかの国の参加者に他の国の参加者も飛び入りし、祖国の歌や踊りを披露した。

三〇日の図書館・文化探訪は四つのコースが用意されていたので、国立図書館が含まれているコースを選んだ。ツアーバスには白バイの先導が付いた。フィリピン国立図書館はその名に恥じない規模のものであった。他のツアーグループと昼食のお弁当を食べたのだが、このときに余興として、図書館学校の学生による極めてアクティブなストーリーテリングが披露された。その一場面を紹介する。CDNLAOのカントリーレポートとCONSALの報



国立図書館で遠来の客をもてなすアリタプタブ(蛭)・ストーリーテラズ・フィリピンズ的面々。通常の読み聞かせのほか、複数の読み手のジェスチャーを交えた掛け合い、客席との応答、小道具を用いた寸劇風のものまで、多彩な妙技を披露した。彼らはフィリピンの図書館学校の学生連である。CONSALの28日午後の専門職分科会では「フィリピン図書館員の専門職化」という報告が行われた。この報告によれば、2004年に新図書館員法が施行され、図書館員の仕事を行うには免許が必要でこの免許を得るには国家試験に合格しなければならず、国家試験を受けるには図書館情報学の学士号または修士号の取得が要件とされている。彼ら図書館学校生がフィリピンの図書館の将来を担うのである。ちなみに同法では、免許なしに図書館員の仕事を行うと、3万～10万ルピーの罰金(1ルピーは約2円)または1月～3年の懲役に処される。日本の無免許医業並みの罰則である。

告資料は、最近の例に漏れず紙ではなくCD-ROMで配布された。今回持ち帰った資料は整理できしだい当館の蔵書として利用に供される。今回のCDNLAOの主催国・フィリピンによる会議レポートは近日発行のCDNLAO Newsletter 五六号に掲載される (<http://www.ndl.go.jp/en/publication/cdnlae/index.html>)。

(やかもと ひろし 関西館資料部長)

# 新指定貴重書および準貴重書について

## 第三八回貴重書等指定委員会

平成一八年三月二〇日、第三八回貴重書等指定委員会を開催し、国立国会図書館貴重書指定基準、国立国会図書館準貴重書等指定基準に基づき、新たな貴重書および準貴重書を指定した。貴重書に指定した資料は、和書四点、洋書三点。準貴重書に指定した資料は洋書一点である。この結果、平成一八年三月現在、当委員会が指定した資料の累計は、貴重書二二〇点、準貴重書七八二点となった。以下に、新指定資料について紹介する。

〈 〉内は当館請求記号

### 〈和書の部〉

#### I 貴重書

##### 1 (謡本)

(慶長年間(一五九六〜一六一五)) 刊 古



(写真1)

活字版 一〇一冊(色替り本八七冊、追加本四冊、補充本五冊、上製本五冊) 色替り本の大きさ二四・〇×一八・〇cm 綴葉装原装表紙左肩駱駝色唐紙に刷題簽(約一・一×三・二cm)(曲名) 各表紙の色は薄紅、黄色、水色など二三色以上 表紙の雲母刷り模様は二七種以上 料紙は斐紙(鳥の子) 両面刷り 無辺無罫 字高一八・五〜二〇・〇cm 七行一三字内外 漢字・仮名交り 本文の行間に節付のゴマ点等を小活字で印刷 鈎印「」、句切り印「、」は印刷後に墨書 墨書あるいは活字押捺による誤植訂正あり 印記、識語等なし

〈請求記号 WA7-256〉(写真1)

指定本は古活字版で刊行された観世流謡本の揃いである。書名は一括して仮に付した。「嵯峨本謡本」、「光悦謡本」、「角倉本」等と通称されるもののひとつで、我が国が世界に誇る美しい装丁と印刷の本である。料紙に色



替りの染紙が使用されていることから「色替り本」（第二種本）と呼ばれる揃い本である。刊行は、「上製本」（第三種本）より後で、慶長末年頃といわれている。表章氏の説では、「色替り本」の揃いは、色替り本九四冊、色替り料紙ではない「追加本」八冊、「補充本」八冊、合計一一〇番一一〇冊とされている。指定本は全一一〇冊。内訳は前記のとおり。「くれは」「猩々」「高砂」「盛久」「ひかき」の計五冊は本来は色替り本だが、後代に「上製本」から補われたものと思われる。「色替り本」の揃いを所蔵するのは、東洋文庫、龍門文庫、天理図書館。東洋文庫本は、色替り本九一冊、補充本四冊、追加本五冊の計百冊。龍門文庫本は、色替り本八九冊、補充本四冊、追加本六冊、上製本一冊の計百冊。指定本、東洋文庫本、龍門文庫本の三本は、同時期の摺刷とみられるが、表紙を付し、製本、頒布された時期には少々差があるかもしれない。若林正治氏（一九一三～八四）旧蔵本。

## 2 (寛永行幸記)

書名は通称による (烏丸光広) 著 (寛永前期一六二四～三三) 刊 絵入古活字版



(写真2)

三巻三軸 総紙数六五紙 上巻二九紙 中巻一五紙(三紙欠) 下巻二一紙 料紙の高さ約二六・四cm オレンジ色地に雲龍模様緞子織表紙 黒白混紐組 見返しクリム色地金切箔散し 料紙楮(裏打ちあり) 絵および漢字かな交じり 上巻序文字部分(四周無辺 無界一行二三字内外 字高約二・二cm) 印記なし

〈請求記号 WA7-257〉(写真2)

古活字版「寛永行幸記」絵巻は、寛永三年(一六二六) 秋九月に行われた後水尾天皇(一五九六～一六八〇)の二条城行幸を絵巻にしたものである。三巻三軸からなり、上巻は中宮(秀忠娘和子一六〇七～七八)を中心とする宮家の行列図、中巻は文字のみで、二条城での饗宴の次第や贈答の和歌等が記される。下巻は天皇を先導する幕府大名、將軍家光(一六〇四～五一)等の行列図。文字部分のみでなく絵部分も百個ほどの「絵活字」を用いて植版されており、古活字版印刷史上、非常に珍しく貴重な資料である。刊行はないが、最初の版は、行幸の翌年寛永四・五年頃には刊行されたと思われる。著者は不明だが、烏丸光広(一五七九～一六三八)と推測されている。

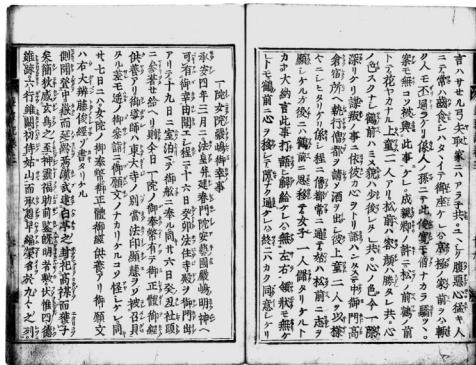
本書は、第一種本、第二種本、別種本と三

回刊行されているが、第一種本（請求記号 WA7-154、WA7-230）が最初に刊行されたとみられる。次に第一種本の「絵活字」をそのまま使用しつつ、さらに「絵活字」の数を増して刊行したものが第二種本（請求記号 WA7-229）。第二種本を底本として、それま

での「絵活字」をすべて覆刻して刊行したものを別種本と呼んでいる。指定本は別種本。別種本は、第二種本と非常によく似ているが、中、下巻末に「あいのまち通高田町」と刊行者を推測させる重要な情報が記載されている版である。刊行時期は、第一、二種本とそれほど隔たっていないと思われる。他に伝本は、書誌学者栗田元次（一八九〇～一九五五）収集の栗田慶次氏所蔵本のみである。

### 3 源平盛衰記

書名は内題による。版心書名「盛衰記」（寛永年間（一六二四～四四）刊。乱版。大きさ二八・三×二〇・一 cm。四八巻目録一卷、二五冊。四目袋綴。改装後補茶色表紙（巻二二裏表紙芯紙に「文政六年」とあり）。本文料紙楮。古活字版部分はカタカナ附訓漢字・カタカナ交じり。四周双边。郭内約二二・七×一六・五 cm。無界。每半葉二二行。黒口上



（写真3）

下花魚尾。整版部分は四周双边（一部单边）郭内約二二・五×一六・三 cm。無界。每半葉一二行。黒口上下花魚尾。表紙、見返しなどに貼紙、墨書あり。印記「松琴／堂」「遠藤」

〔松〕

#### ＜活字版＞

『源平盛衰記』は最初に古活字版で刊行された。古活字版には（一）慶長年間刊行・四周双边・一一行・漢字カタカナ交じり本（二）元和寛永年間刊行・四周单边・一一二行・漢字カタカナ交じり本（三）四周双边・一一二行・カタカナ附訓漢字カタカナ交じり本（乱版）の三種類が知られている。指定本は（三）で、全二五冊中に活字版と一枚板で印刷された整版とが混在していることから、乱版（みだればん）『源平盛衰記』と通称されているものである。第二、二二、二五冊は活字版のみ、第一一、一四冊は整版のみだが、ほかの冊はすべて一冊の中で活字版と整版とが混ざって製本されている。このような「乱版」が何故に出版されたかは諸説あるが、当時の出版の一端を語る貴重な資料である。

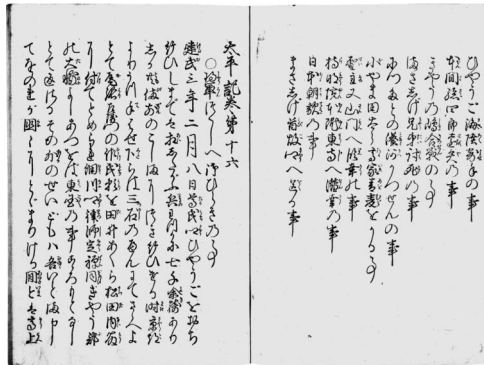
本書は、古活字版の中ではめずらしいカタカナ附訓の漢字活字が使用されているが、この活字はほかに、乱版『太平記』（天理図書

館蔵)の古活字版部分および、古活字版『平家物語』(東洋文庫蔵)にも使用されている。指定本の刊年は不明だが、寛永年間と推定されている。なお、第二冊表紙に「加東郡/員原村」「丹羽」と墨書があることから、旧蔵者の一人として播磨国三草藩主丹羽氏が考えられる。ほかには、天理図書館(四本)、成實堂文庫(巻三五・三六、巻三七・三八の二冊のみ)に所蔵される。

#### 4 太平記

書名は内題による 慶安三年(一六五〇)刊 第四〇冊巻末刊記「慶安三年庚寅五月吉日 荒木利兵衛開」古活字版 大きき二八・〇×二〇・〇cm 四〇巻四〇冊 五目袋綴 水色地原表紙か 表紙中央に鳥の子料紙に金泥草花模様様の刷題簽(一九・五×四・二cm)色は赤、白、緑など七種 「太平記」(二種類)の書体あり (巻数墨書) 本文料紙楮ひらがな附訓漢字・ひらがな交じり 無辺無界 每半葉一行 毎行約二〇字内外 高約二三・五cm 喉に丁数印刷 胡粉、墨書等による文字の訂正あり 表紙芯紙に同本の摺刷反故紙使用 印記、書入等なし

〔請求記号 WA8-6〕(写真4)



(写真4)

早く刊行された本といわれる。有刊記本の最初は慶長八年古活字版(東洋文庫蔵)である。また最も版を重ねた本でもあり、古活字版、整版を合わせて三〇種以上ある。指定本は慶安三年版。古活字版の歴史は慶安初年で幕を閉じるが、この慶安三年版『太平記』は、その最後を飾る本の一つとして有名である。寛永元年古活字版(ひらがな附訓漢字・ひらがな交じり本、京都大学図書館、天理図書館等蔵)を底本とし、一部同じ活字も使用している。また、当館所蔵古活字版『鴉鷺入口戦物語』(慶安二年刊 荒木利兵衛開板 請求記号WA85)とは版元が同じで、同じ活字を使用しているようである。

指定本と同版は、宮内庁書陵部、大東急記念文庫で所蔵する。大東急記念文庫本には「目録并劔」と刷題簽の付された一冊が含まれ四一冊となっているが、指定本および書陵部本にはこの一冊は含まれていない。なお、当館では慶長一二年古活字版(請求記号WA7-24)も所蔵している。

(貴重書指定委員会)  
\* 洋書の部は一一頁から始まる。

\* (謄本)は貴重書画像データベース (<http://rarebook.ndl.go.jp/>)にて全冊閲覧いただけます。

## II 準貴重書

### 1 ウィリアム・ハーヴェイ『動物の発生に関する研究』（1651）

Harvey, William, 1578-1657. *Exercitationes de generatione animalium : quibus accedunt quaedam de partu, de membranis ac humoribus uteri, & de conceptione.* Londini : Typis Du-Gardianis : Impensis Octaviani Pulleyne..., 1651. [32], 301, [3] p.; 23cm. (4to) Signatures : pi<sup>4</sup> a<sup>4</sup> B-Ss<sup>4</sup>

<WB29-78>

イングランドの医師・解剖学者・生理学者ウィリアム・ハーヴェイは、1578年、ケント州で貿易商の息子として生まれた。ケンブリッジ大学、イタリアのパドヴァ大学で医学・解剖学を学んだ後、ロンドン市内の聖パーソロミュー病院で医師として活躍するとともに、1615年からは解剖学と外科学のラムリ講座の教授職を務め、1618年には国王侍医に任ぜられた。1628年に出版した『諸動物における心臓と血液の動きに関する解剖学的研究』で血液循環説を実証し、近代生理学の礎を築いたことで知られる。彼の業績としてもうひとつ挙げられるのが動物発生に関する研究で、長年の実験観察の成果をまとめて1651年に出版したのが本書『動物の発生に関する研究』（初版）である。ラテン語で記されており、書籍商 Octavian Pulleyne (fl.1627-67) が出資し、William Dugard (1606-1662) により印刷された。

同じ1651年のうちにアムステルダムで3つの版が出版され、うちのひとつ Janssonium 版を当館では所蔵し、すでに準貴重書に指定している <WB29-72>。この後もオランダ、イタリアで版を重ね、1653年にはロンドンで英語版も出版されたが、この訳者は不明とされている。また、1847年には Robert Willis による再訳も刊行された。

出版者にあたる O.Pulleyne はロンドンの書籍商で、1639-43年頃までは George Thomason (fl.1627-1666) と共同経営を行っていた。本書を出版した当時は St.Paul's Cathedral 境内に店を構えていたが、1666年のロンドン大火で消失している。また彼は1653年刊の英語版の出版者でもある。印刷者にあたる W. Dugard は、教育者、出版業者として活動した。チェコの教育者コメニウスの教育論に影響を受けた彼は自作の教科書を作成するために1648年から出版業を始めたが、彼による出版物にはピューリタン革命に関わる政治的な著作・パンフレットが多数含まれる。

本書は72篇の小論文からなる本論と3篇の付論によって構成されている。ニワトリの卵の発生や、シカなどの胎生動物の発生現象についての詳細な観察からハーヴェイが唱えた「全ての生物は卵から」という主張は、後成説（成体の諸器官は未分化で均一の胚から漸次的に形成される）に基づいており、近代発生学研究の先鞭をつけるものであった。

（貴重書等指定委員会）

\* 和書の部は、4頁から始まる。

この Tramezzino 版は、すでに1552年に *Avisi particolari*…として刊行されていた通信集を再刊しながら、さらに多数の通信を集成したもので、日本情報も多く含まれている（本第3巻にはザビエル、ヴィエラ、ガゴ、フロイスが発信した日本情報が含まれている）。当館では、本第3巻以外はすべて所蔵していた（第1巻は1565年刊の第2版 <WA41-72>、<WA42-13>、第2巻は1568年刊の第2版 <WA41-37>、第4巻は1565年刊の初版 <WA41-37>）ので、版違いながら全4巻が揃った。

### 3 ヨーアヒム・クレウス『シュレーゼン年代記』（1585）

Curaeus, Joachim, 1532–1573. *Schlesische vnd der herrlichen Statt Bresslaw General Chronica, Das ist: Warhaffte eigentliche vnd kurtze Beschreibung dess Landes Ober vnd Nider Schlesien. Erstlich durch … Ioachimum Cureum … in Lateinischer Sprach beschrieben: Jetzundt verteutschet durch … Heinrich Rätteln zu Sagan / [etc.]*. Franckfort am Mayn: Sigmundt Feyerabend, 1585. 2 v. in 1: ill. (woodcuts); 32cm. (fol.) Signatures:)(<sup>4-1</sup>, A–Y<sup>4</sup>; Aa<sup>4</sup>–Pp<sup>4</sup>, Qq<sup>6</sup>; a–i<sup>4</sup>, k<sup>6-2+2</sup>, l–v<sup>4</sup>, x<sup>6</sup>

<WA42-97>

ヨーアヒム・クレウス（Curaeus または Cureus）は、シュレーゼンのフライシタット生まれのドイツ人で、ウィッテンベルクで勉学ののち故郷で教師をしていたが、医学を学ぶためイタリアのボローニャ大学に留学、シュレーゼンに戻ってきからはグローガウで開業した。彼はウィッテンベルク時代に宗教改革者メランヒトン（1497-1560）の教えを受け、後年になってカルヴァン主義擁護の著作を執筆・刊行したことで知られているが、本書『シュレーゼン年代記』により歴史家としても有名である。彼はこの著作をラテン語で執筆し、1571年にウィッテンベルクで *Gentis Silesiae annals complectentes historiam* … というタイトルで公刊したが、その2年後に亡くなった。

ザーガンの市長を務めるかたわら翻訳業にもいそしんだハイน์リッヒ・レーテル（Rättel または Rätel ないし Rethel, 1529-1594）による独訳は、1585年にウィッテンベルク、ライプツィヒ、フランクフルトの三都市で刊行された。本書はジグムント・ファイヤーアーベント（1528-90）によって刊行されたフランクフルト版である。ファイヤーアーベントはフランクフルトの多作な出版者で、1559年からダヴィッド・ツェプフルおよびヨハン・ラッシュとともに出版業に携わり、1561年のルター訳ドイツ語聖書などたくさんの書物を出版した。

『シュレーゼン年代記』は、それまでまとまった歴史書が書かれたことがなかったシュレーゼン地方に関する最初の体系的な歴史書であり、古代から説き起こして、1550年代まで説き及んでいる。本書（ドイツ語版）は1584年までの出来事を増補しており、以後も非常に多くの版を重ねた。また、17世紀にはさらなる増補版も刊行されている。

本書を出版した Francesco Bindoni (1501-54?) と Maffeo Pasini (d.1551/52) は1520年代から16世紀半ばにかけてヴェネツィアで最も成功した印刷業者であった。彼らが印刷した作品には騎士道文学やルネサンスを代表するユマニストの作品が多く含まれ、アリオスト『狂えるオルランド』、ペトラルカ『叙情詩集』、ボッカチオ『デカメロン』などを刊行した。

本書は15世紀後半に『算術、幾何、比例論大全』を完成させた代数学者・算法教師ルカ・パッチョーリ (1445-1517) の影響を受けており、初等数学の教科書として高い評価を得ている。第1部では商業算術について、第2部では平方根や代数、第3部では実用的な幾何学について記述されている。

## 2 『イエズス会通信集』 (1562)

*Nuovi avisi dell'Indie di Portogallo, riceuuti dalli reuerendi padri della Compagnia di Gesu, tradotti dalla lingua spagnuola nell'italiana.* Terza parte.  
In Venetia: per Michele Tramezzino, 1562. [8], 316 leaves : ill. ; 16 cm. (8vo)  
Signatures: a<sup>8</sup>, A-2Q<sup>8</sup> 2R<sup>4</sup> Cordier, col. 47; Streit, v.4, n.898.

<WA42-96>

16世紀半ばより布教のため世界各地に赴いたイエズス会士は、おびただしい数の通信を本国へ送った。本書はそうした通信のイタリア語訳を集めたものである。Terza parte (3d pt.) とある通り、著作の一部であり、全体では4巻本として刊行された。4巻とも、ヴェネツィアの多作な出版者 Michele Tramezzino (d.1579) が刊行しており、いずれにもウルビーノ公グイドバルド2世夫人ヴィットリーア (1521-1602) への献辞が付けられているが、彼女の祖父は1540年にイエズス会を認可した法王パウルス3世である。4巻合わせると1548年から61年までの174通の通信が集められている。第1巻は *Diversi avisi particolari dall'Indie di Portogallo*…というタイトルで1559年に、第2巻は *Nuovi avisi dell'Indie di Portogallo* …というタイトルで同年に刊行された。本書は第3巻として1562年に、また第4巻は1565年に刊行されている。同じタイトルの Quinta parte (5th pt.) がプレーシャで1579年に刊行されているが、1569-76年の通信を扱っており、連続性がないので、別の著作と考えられる。





# 新指定貴重書および準貴重書について

— 第38回貴重書等指定委員会 —

## <洋書の部>

### I 貴重書

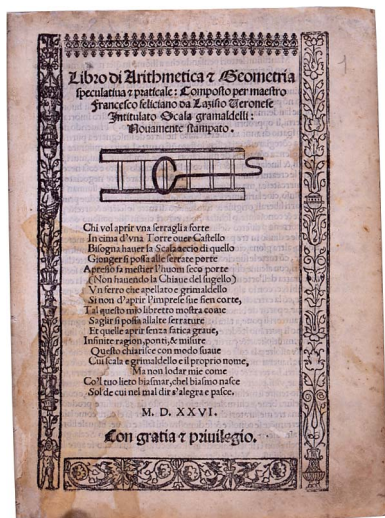
#### 1 フランチェスコ・フェリチアーノ『算術および幾何学の書』(1527)

Feliciano, Francesco, fl. 1517-1542. *Libro di arithmetica [e] geometria, speculatiua [e] praticale* / composto per maestro Francesco Feliciano da Lazisio veronese intitolato Scala gramaldelli. Nouamente stampato. Stampato nella inclita citta di Vinegia...: per Fra[n]cesco di Alessandro Bindoni, & Mapheo Pasini compagni, 1527. [80] leaves : ill. ; 22cm. (4to)

Signatures : A-V<sup>4</sup> Imprint from colophon.

<WA42-95>

フランチェスコ・フェリチアーノはイタリアのヴェローナ近郊 Lazise に生まれ、ヴェローナで算数教師として活躍した人物である。商業の発展に伴い、より複雑な数学的技能が必要となってきた商人の需要に応えるため、ルネサンス期イタリアでは職業的数学者としての算数教師が登場した。そのひとりであるフェリチアーノの著作としては *Libro de abbaco* (1517) と本書の2作が知られている。本書は *Libro de abbaco* の改訂版として1527年にヴェネツィアで出版されたものだが、その後も多くの四折版が再刊され、1692年に至るまで版を重ねたことから、実用書として極めて人気の高い作品であったことがうかがえる。



## 本屋にない本

国立国会図書館は、法律によって定められた納本制度により、日本国内の出版物を広く収集しています。このコーナーでは、主として取次店を通さない国内出版物を取り上げて、ご紹介いたします。

阪店は、不況と競争激化のあおりを受けた。また一九九五年の阪神・淡路大震災において、旧館取り壊しの損害を被った影響も大きかった。

大阪で生まれ育った筆者も、大阪店に足を踏み入れた経験は数えるほどしかなかったが、一九九一年に呉服店と両替商として開業し三百年を超える歴史を誇った小売店が閉まるというニュースは、時代の終焉を感じさせる物悲しさを誘い、強く記憶に残っていた。

こういった個人的思い入れから手に取った本書は、タイトルの通り一九〇四年から二〇〇四年までの三越の歴史を、編年体で一年ごとに丁寧に振り返っている。各年の出来事は見開き二ページで一覧でき、写真資料がふんだんに使われているほか、それぞれの年の社会・生活・世相にも併せて触れているので大変分かりやすい。それに加え、一六七三年の越後屋創業からの歴史も簡潔にまとめてあるので、呉服商(越後屋)から始まり、三井呉服店を経て近代百貨店に成長していった過程が詳しく分かる構成になっている。特

株式会社三越100年の記録 デパートメントストア宣言から100年  
1904・2004 三越本社コーポレートコミュニケーション部資料編  
纂担当編 三越刊(〒103-8001 中央区日本橋室町一四一)二〇〇五・五 四一七頁 A4 (DH22-H273)

二〇〇五年五月五日、三越大阪店が閉店した。現在、大阪の繁華街はキタ(梅田)とミナミ(心斎橋・難波)に集中しており、その双方から少し離れている北浜にあった三越大

### 国立国会図書館の編集・刊行物

外国の立法 立法情報・翻訳・解説

第二二八号 A4 二四四頁

【特集 テロリズム対策】

テロリズムとその対策―国際社会の取組み(総論)

9・11同時多発テロ事件以後の米国におけるテロリズム対策

米国におけるテロリズム対策―情報活動改革を中心に―

EUのテロリズム対策

英国2006年テロリズム法―「邪悪な思想」との闘い

フランスのテロリズム対策

ドイツにおけるテロリズム対策の現況

ロシアのテロリズム対策

韓国のテロリズム関連法制

中国のテロリズム対策に関する立法動向

東南アジアとテロリズム対策―シンガポールとフィリピンを中心に―

オーストラリアのテロリズム対策

パキスタンにおけるテロリズム対策と関連法制

現代イスラム過激派とテロリズム

季刊 二、一〇〇円(紀)

(ISBN 4-87582-694-6)

に、一九〇四年暮れに行われた「デパートメントストア宣言」は、取扱商品の種類を増やし「米国のデパートメントストアの一部を實現可致候事」と打ち上げており、この百年前の理想が、現代の「百貨店に行けばとりあえず何でも手に入る」状態に体现している。また、同じ一九〇四年に尾形光琳を取り上げた初の文化展覧会が開かれていること、一九〇七年には食堂・屋上庭園が開設されていることなど、ごく初期のころから現代の百貨店と共通する発想が見られるのは注目すべき点である。単なる「モノを売る場所」にとどまらないこれらのサービスは、これまでは消費者の支持を集め、百貨店に行くこと自体をレジャーとして成立させてきたといえる。

かつて百貨店が持っていた魅力を自ら失わせてしまったことが原因であると書かれている。本書は、本編の最終ページに「これからの百貨店」と称し、百貨店業界の現状と三越の今後の方向性について分析を加えているが、「新三越モデル」として挙げられた接客の重視、高級感の追求、独自の確立の「原点回帰」は、三越一社に限らず百貨店業界全体に該当するコンセプトであると思う。一方、「この変革には、(中略)企業風土やマネジメント上の問題点を、根本的に解決しなければなりません」という記述には、伝統ある老舗であるがゆえの組織の硬直性がうかがえる。この硬直性は小売業だけでなくあらゆる企業形態に見られ得るものであるが、百周年記念の社史にあえて指摘した点は、後世に伝わる資料としての社史の役割を考える上で非常に興味深かった。

(落 <sup>おち</sup> 美都里 <sup>みどり</sup>)

レファレンス 第六八五号 A4 一四二頁

- 温泉街の事業再生と地域金融機関
- 地球温暖化と日本の農業
- 最近における企業収益と労働分配率
- 請願制度の今日的意義と改革動向
- 最近のフランスの産業政策
- 主要国における公共交通機関のテロ対策
- 沖縄の自治体財政と国の財政支出
- 義務教育における少人数学級編制

月刊 税・送料込み 八三二円(有)

入手のお問い合わせ

(紀) 紀伊國屋書店 (〒5013 東京都渋谷区東三十一-三十二)

(有) 有隣堂印刷機 (〒14004 東京都品川区南品川六上二-〇)

特に記載のないものは税込価格です。

第五四三号 (二〇〇六年六月) の

訂正とお詫び

一三頁中段七、八行目

同 土屋 恵司

同 ↓ 専門調査員 土屋 恵司

同 中根 憲一

同 ↓ 調査員 中根 憲一

お詫びして訂正いたします

図書館業務を行う上で、必要な物は何だろう？ 電気や水道などのライフラインから、書架や机などの備品、さらには資料やブックトラックや筆記用具まで…。ここ数年では、業務のシステム化が進み、パソコン・インターネット・メール・電子図書館基盤システム（当館の業務システム）なども挙げられるであろうか。

業務を行う上で、システム機器に対する依存度が高くなるに従って、通信のすべてを支える「ネットワーク」も重要な役割を果たすようになってきている。私の係の仕事の一つにそのネットワーク運用管理がある。

さてネットワークとは？ 簡

単に言えば、通信データの通り道である。パソコンから各種ホームページを見る、メールを送る、業務システムを使う、東京本館―関西館で通信する。また来館利用者が使うパソコンから、はたまた図書館の外からのアクセスも…。システムに関連した業務全般を支えているのがネットワークである。

そんなネットワークの運用管理。そこには



ネットワーク機器があり、配線ケーブルがあり、外部の回線業者もいたりする。機器の故障や設定変更など、起こる事は様々だが、日中にネットワークが止まってしまうと、ほとんどの業務ができなくなる。その結果は、当然大ブーイングだ。冗長化（同じ機器を二台置き、片方が壊れても自動的に切り替わること）、アラート通報（機器の異常を検知すると、メールが送付されること。最高記録は一日で五千件…）、また主要な機器は二四時間保守対応にするなど、様々な手を打ち、日々ネットワークを守り続けるのが私の係の役割である。

そのネットワークも今年の四月には入替えがあり、現在では三代目となった。この設計・構築から入替えまで一年三か月、機器は約五百台入っている。

人知れず業務を支え続けるネットワーク。私はそんなネットワークを支える縁の下の力持ちとして日々奮闘を続けている。（情報システム課運用係）

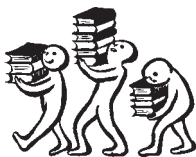
最近呼び名がネット刑事)

#### 常設展示のお知らせ

#### 第一四四回「本屋にない本」から

―納本制度が可能にする資料収集―  
平成一八年七月二〇日（木）から  
九月一九日（火）まで

於 本館二階第一閲覧室前（東京本館）



詳細は本誌五四三号または当館ホームページをご覧ください。ホームページでは、「ギャラリー」のなかにある「常設展示」のコーナーに、展示資料一覧と簡単な解説文を掲載しています。（<http://www.ndl.go.jp/jp/gallery/permanent/index.html>）  
巻末にこの展示会に関連したコラム「本を魅せる 常設展示案内」があります。

なお、本誌五四三号では、今回の常設展示のタイトルを「本屋にない本」より「とお知らせしましたが、副題を添え、「本屋にない本」から―納本制度が可能にする資料収集―」と変更しました。

# 月例報告

## 法規の制定

### 解説

館長決定第三号は、職員の勤務時間に関し、休憩時間を廃止して休憩時間を三十分間から一時間に變更し、これに伴い勤務時間の割振りを改め、終業時刻を三十分延長したものである。

この法規は、平成十八年七月一日から施行された。

(館長決定第三号)

### 国立国会図書館職員の勤務時間、休暇等に関する件の一部を改正する件

(平成十八年六月二十三日制定)  
国立国会図書館職員の勤務時間、休暇等に関する件(平成六年館長決定第三号)の一部を次のように改正する。

第二項第一号中「午後五時三十分」を「午後六時」に、「三十分を」を「一時間を」に、「午後五時まで」を「午後五時三十分まで」に、「午後六時」を「午後六時三十分」に改

め、同項第二号中「午後五時三十分まで(その間に置かれる休憩時間三十分)」を「午後六時まで(その間に置かれる休憩時間一時間)」に改め、同号ただし書中「午後六時」を「午後六時三十分」に、「三十分を」を「一時間を」に改め、同項第三号中「午後五時まで」を「午後五時三十分まで」に、「三十分を」を「一時間を」に、「午後五時三十分」を「午後六時」に改める。

第六項中「午後零時三十分」を「正午」に、「三十分間」を「一時間」に改める。

第七項を削り、第八項を第七項とする。

### 附則

本件は、平成十八年七月一日から施行する。

### おもな人事

(調査及び立法考査局総合調査室付主幹・国会レファレンス課長事務取扱)

調査員 戸田 典子

調査及び立法考査局社会労働調査室付を命ずる

調査及び立法考査局国会レファレンス課長事務取扱を解く

(調査及び立法考査局長)

調査員 齋藤 憲司

調査及び立法考査局国会レファレンス課長事務取扱を命ずる  
以上平成十八年七月一日付け

### 元職員に対する叙位

元職員に対し左記のとおり叙位があった。

### 記

(元司書) 多田 芳雄

正五位に叙する

平成十八年四月十五日付け

### 職員の出向

参事 早乙女秀明

国土交通省へ出向

調査員 諸橋 邦彦

参議院事務局へ出向

調査員 寺西 香澄

参議院事務局へ出向

以上平成十八年七月一日付け

### 職員の転任

(国土交通省)

国立国会図書館参事に任命する

竹下 雅巳

(国土交通省)

横幕 泰

国立国会図書館参事に任命する

(文部科学省)

鳥澤 孝之

国立国会図書館調査員に任命する

(参議院事務局)

小澤 隆

国立国会図書館調査員に任命する

(参議院事務局)

澤村 典子

国立国会図書館調査員に任命する

以上平成十八年七月一日付け

―― 職員の退職 ――

(退職時部局)

主題情報部

司書 若林 優子

同 宮澤 正哉

関西館

参事 清水 邦彦

以上平成十八年六月三十日付け

―― 職員の採用 ――

(配置部局)

関西館

司書 木目沢 司

平成十八年六月一日付け

資料提供部

司書 山本 直樹

関西館

同 原 聡子

以上平成十八年七月一日付け

ご案内

平成18年度 児童文学連続講座－国際子ども図書館所蔵資料を使って

全国の各種図書館等で児童サービスに従事する図書館員の資質向上、幅広い知識のかん養に資することを目的に、国際子ども図書館が広く収集してきた内外の児童書および関連書を活用した児童文学連続講座を開催します。



テーマ：「絵本の愉しみ－イギリス絵本の伝統に学ぶ－」

総合監修：吉田 新一

(国立国会図書館客員調査員、立教大学名誉教授)

開催日：平成18年10月16日(月)～ 18日(水)

会場：国立国会図書館国際子ども図書館 3階ホール等

対象：現在、図書館や文庫等において児童サービスに従事する方。  
定員60名。1機関1名。3日間連続して受講できる方を優先。  
\*応募多数の場合は調整させていただきます。

申込み方法：国際子ども図書館ホームページ (<http://www.kodomo.go.jp/>)  
をご覧ください。

申込み・問い合わせ先：

国立国会図書館国際子ども図書館企画協力課協力係  
〒110-0007 東京都台東区上野公園12-49  
TEL：03-3827-2053 (代表) FAX：03-3827-2043  
E-mail：kenshu@kodomo.go.jp



## 第10回 資料保存研修のご案内

国立国会図書館では、国内の各種図書館等に在職する職員の方を対象に、資料保存に関する基礎的な技術の習得を目的として、下記のとおり実技研修を実施します。

- テーマ** あなたにもできる図書館資料の保護と補修  
ー簡易補修、パンフレット製本、表紙と本体をつなぐ修理ー
- 日時** 平成18年10月12日(木) 10:00～16:30  
10月13日(金) 10:00～16:30
- 会場** 国立国会図書館関西館（京都府相楽郡精華町精華台8-1-3）
- 内容** 昨年、一昨年に実施した第8回および第9回資料保存研修と同内容です  
午前：講義と研修教材による実技指導  
午後：研修生持参の資料による実技研修
- 実技指導は、収集部資料保存課職員が行います。  
実技研修後に、希望者による関西館見学も予定しています。

### 持参していただくもの

上製本で表紙と本体が分離している図書（A5判またはB5判で厚さ3cm程度のもの）1冊、エプロン等

### 申込方法、定員等

- ・電子メールで、①氏名、②所属機関、③所在地、④電話番号、⑤受講希望日（どちらでもよい場合は両方を書いてください）、⑥関西館見学希望の有無を明記して、平成18年9月15日(金)までにお申し込みください。電子メールの使えない機関の場合のみ、FAXでお申し込みください。
- ・定員は32名（各日16名）です。申込み多数の場合は、やむを得ず参加をご遠慮いただくことがあります。また、受講日についてもご希望にそえない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・過去に資料保存研修に参加されたことのある方のお申込み、同一機関からの複数のお申込みは、ご遠慮ください。
- ・参加費は無料です。受講日、持ち物の詳細等は後日、参加者にご連絡いたします。

### 申込み・問い合わせ先

国立国会図書館収集部資料保存課  
E-mail：hazonka@ndl.go.jp  
FAX：03（3592）0783  
電話：03（3506）3356（ダイヤルイン）

## 平成18年度 資料電子化研修

図書館所蔵資料の電子化の方法および電子化に関連する課題の認識と解決への考え方を習得し、国内の各種図書館の電子化事業に役立てていただくことを目的として、平成18年度資料電子化研修を次のとおり実施します。

**期 間:** 平成18年 9月21日(木) ～ 22日(金)  
**会 場:** 国立国会図書館関西館 第1研修室  
**対 象:** 国内の図書館で図書館資料の電子化を担当する方または今後担当する予定の方。

1機関1名。定員20名。応募多数の場合は調整します。

**申込み締切:** 平成17年 8月11日(金) 必着

詳細・申込み方法は、当館ホームページ「図書館へのお知らせ」  
 ([http://www.ndl.go.jp/jp/library/library\\_news.html](http://www.ndl.go.jp/jp/library/library_news.html)) をご覧ください。

問い合わせ先:

国立国会図書館関西館 図書館協力課研修交流係  
 〒619-0287 京都府相楽郡精華町精華台 8-1-3  
 TEL 0774-98-1446 FAX 0774-94-9117  
 担当: 上川、村上

(関西館事業部図書館協力課)

## WARP が事業化され、 収集コンテンツ内容本文の検索が可能となりました

インターネット資源選択的蓄積実験事業は本格事業化に伴い名称をインターネット情報選択的蓄積事業(Web ARchiving Project 略称: WARP)に改めました。ウェブサイトを、7月10日にリニューアルし、従来の書誌情報の検索に加えて、収集コンテンツ内容本文の検索が可能となりました。

保存された過去のウェブサイトや電子雑誌に、ぜひアクセスしてみてください。

URL : <http://warp.ndl.go.jp>

(関西館事業部電子図書館課)

## 展示会関連ギャラリートークの開催について

現在、国際子ども図書館で開催中の展示会「北欧からのおくりもの—子どもの本のあゆみ」関連催物として、以下のギャラリートークを行います。

- スウェーデン編 — 8月9日(水) 13:30～、15:00～ の2回  
講師：菱木晃子氏（当展示会監修者 翻訳家）
- フィンランド編 — 9月2日(土) 13:30～、15:00～ の2回  
講師：稲垣美晴氏（当展示会監修者 翻訳家）
- 総合編 — 10月14日(土) 13:30～、15:00～ の2回  
講師：福井信子氏（当展示会監修者 東海大学助教授）

会場：国際子ども図書館 3階本のミュージアム  
※事前申込み不要。当日会場へお越しください。

問い合わせ先：国立国会図書館国際子ども図書館企画協力課  
〒110-0007 東京都台東区上野公園12-49  
TEL (03) 3827-2053 (代)

展示会は、平成19年1月28日(日)まで、国際子ども図書館3階本のミュージアムで開催しています。

## 8月18日の国際子ども図書館の閉館時間が変わります

国際子ども図書館は、国立国会図書館が協力する「日中韓子ども童話交流2006」の見学受け入れのため、次のとおり閉館時間を変更いたします。

日時：平成18年8月18日(金) 午後2時閉館

これに伴い、当日の資料室カウンターへの資料請求と複写の申込み時間は、次のとおりとなります。

- 資料請求の受付：9:30～13:30
- 即日複写の受付：10:00～13:30
- 後日複写の受付：10:00～13:30
- 複写製品の引渡し：10:30～14:00

なお、郵送等による文書レファレンスおよび図書館間貸出の受付は通常どおり行います。ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

## 電子展示会「史料にみる日本の近代」の提供開始

電子展示会「史料にみる日本の近代—開国から講和まで100年の軌跡—」の提供を7月20日に開始しました。



ペリー率いる米国艦隊が浦賀沖に来航した嘉永6（1853）年から、対日講和条約が発効し独立を回復した昭和27（1952）年までの100年間は、我が国の政治、経済、社会が大きく変化していった激動の時代でした。

この電子展示会では、日本の近代100年を「立憲国家への始動」「明治国家の展開」「大正デモクラシー」「立憲政治の危機」「新日本の建設」の5章に分けて紹介します。憲政資料室が所蔵する手稿や書翰等を中心とした一次史料約150点を電子化・テキスト化して、時代の雰囲気伝える挿図を添え、各史料の背景についても解説しています。また、政治史の裏話を史料に基づきご紹介するコラムや、歴史史料の読み解き方を具体例を挙げて解説するコーナーを設け、史料とその背景をなす歴史を多角的に楽しんでいただけるよう工夫しました。

この機会に当館が所蔵する貴重な政治史料の数々を、多くの方々にご覧いただければ幸いです。

<URL> <http://www.ndl.go.jp/modern/>

### <アクセス方法>

国立国会図書館ホームページ（<http://www.ndl.go.jp/>）のギャラリーに電子展示会への入り口を設けています。

### <問い合わせ先>

国立国会図書館 主題情報部参考企画課 情報サービス第二係  
電話 03-3506-5260（直通）

## 利用者アンケート調査へのご協力をお願い

平成18年8月1日(火)から9月30日(土)までの2か月間、利用者の皆様を対象としたアンケート調査を実施します。次の2種類のアンケートを当館の各ホームページに掲載しますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

- 国立国会図書館ホームページ (<http://www.ndl.go.jp>)
- 国際子ども図書館ホームページ (<http://www.kodomo.go.jp/index.jsp>)

質問内容は、ホームページおよびホームページから利用可能な各種サービスの利用状況や満足度、改善要望等についてです。いただいたご意見は、今後のサービス向上や業務改善に活用します。

アンケート調査の結果は、平成18年度内に当館ホームページで公表するとともに、本誌でも報告する予定です。過去のアンケート調査の結果については、当館ホームページ(<http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/enquete.html>)をご覧ください。

## 国立国会図書館における省エネルギー対策について

平成17年2月に、温室効果ガスの削減等を定めた「気候変動に関する国際連合枠組条約の京都議定書」が発効し、これを受けて政府は「京都議定書目標達成計画」を閣議決定し、地球温暖化に対する具体的な対応策を定めています。

当館も国の機関として同計画の趣旨に沿って協力することとし、利用者の閲覧環境や図書館資料の保存環境に留意しつつ、省エネルギー対策を推進することとしました。

具体的には、冷暖房設定温度等の調整(夏季28℃、冬季19℃程度の設定)や事務室等の消灯励行などの節電を心がけています。

利用者の皆様に、ご不便をおかけすることもあるかと存じますが、上記の趣旨にかんがみ、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

◆ 学協会のホームページで調べる

学協会のホームページからペーパーを購入することができる場合もあります。URLと検索できる範囲、検索画面へのナビゲーションは24ページの表をご参照ください。

◆ 冊子目録で調べる

○学協会ペーパーを検索できる二次資料

- Conference Papers Index (当館請求記号 Z54-B381)  
生命科学・自然科学・工学分野の学協会ペーパーを採録

○各学会の発行する機関誌 (一例)

- "Mechanical Engineering" (当館請求記号 Z53-E279)  
ASME Paper の2002年以前のものを確認できる。ほぼ各号に "Technical Digest"、"Paper and Proceeding"、"ASME Publications" 等の欄があり (年代によってコーナーの名前が異なる)、ペーパー番号順の一覧を数か月遅れで掲載

○NDL の所蔵調査のための資料 (1961~1997年受け入れ分)

- 「技術文献ニュース」と改題後誌「海外科学技術資料月報」(当館請求記号 Z14-301)  
1961~1991年に NDL で受け入れた分のペーパーを検索可能
- 「海外科学技術資料受入目録」(1993-1998) (当館請求記号 Z14-B59)  
1992~1997年に NDL で受け入れたペーパーを検索可能

<おわりに>

近年、物理学や数学の分野でプレプリントサーバと呼ばれる Web 上のアーカイブがいくつも立ち上げられています。発表される前の段階の論文が Web 上に蓄積されており、一部の学協会ペーパーにもアクセスできます。電子ジャーナルやプレプリントサーバの普及により、一つの論文を冊子や Web など複数の場所から入手できる可能性が出てきています。NDL では、このような Web 上の情報へのナビゲーションや、館内端末からアクセスできるサービスなど、最近の情報環境に対応したサービスを目指していきたいと考えています。

<参考文献>

佐々木良. 学協会ペーパー. 科学技術文献サービス. 100/101, 1993, p.38-41  
東北大学附属図書館. "東北大学生のための情報探索の基礎知識2004/2005". 東北大学附属図書館. (オンライン), 入手先 <<http://www.library.tohoku.ac.jp/mylibrary/tutorial/2005/>>, (accessed 2006-06-22)

(関西館資料部文献提供課 やました 山下 ユミ)



### <NDL-OPAC での所蔵確認>

NDL の所蔵を調べるときは、NDL-OPAC（国立国会図書館蔵書検索・申込システム）を使います。

- (1) NDL-OPAC の「規格・レポート類の検索／申込み」をクリックしてください。
- (2) ペーパー番号は、「レポート番号／規格番号」欄に、タイトルや会議名は「タイトル」欄に、論文の著者名は「著者」欄に入力してください（図参照）。

ただし、タイトル欄と著者欄で検索できるのは、1994年から2001年に受け入れたものだけです。これ以外の年代のものについては、ペーパー番号でしか検索できません。ペーパー番号の検索方法は、次項をご覧ください。

検索例：「R. Gilmore. Ultrasonic machining of ceramics. SME Paper MS 90-346, 1990, p.12.」の NDL 所蔵を調べたい。

- (1) NDL-OPAC の「規格・レポート類の検索／申込み」をクリックする。
- (2) 「レポート番号／規格番号」欄に「SME MS90-346」と入力して検索する。
- (3) 請求記号「M-SME-MS90-346」のデータがヒットする。NDL に所蔵していることがわかる。

### 図 NDL-OPAC の検索方法

規格・テクニカルレポート類検索

※この画面では、科学技術関係の専門資料(規格資料、テクニカルレポート、学協会ペーパー、UMI博士論文)を検索できます。

主な検索項目と入力欄

- ◆ペーパー番号 ⇒ [レポート番号 / 規格番号]欄
- ◆論文のタイトルや会議名 ⇒ [タイトル]欄
- ◆論文の著者 ⇒ [著者]欄

※タイトル欄と著者欄で検索できるのは、1994年～2001年受入分のみ

### <学協会ペーパーの番号の調べ方>

学協会ペーパーの所蔵を調べるときには、ペーパー番号が必要な場合があります。ペーパー番号は、学協会のホームページ、冊子目録、ペーパー類を採録している二次情報データベース、抄録索引誌（「Engineering Index」や「BUNSOKU」など）で調べることができます。

表 NDL 所蔵のおもな学協会ペーパー

名 称	AIAA Paper	ASME Paper	SAE Technical Paper	SME Paper
学 会 名	米国航空宇宙協会 (American Institute of Aeronautics and Astronautics)	米国機械学会 (American Society of Mechanical Engineers)	自動車技術者協会 (Society of Automotive Engineers)	製造技術者協会 (Society of Manufacturing Engineers)
学 会 の 説 明	航空宇宙関連のあらゆる分野を含む学会	機械工学部門の世界的な学会	自動車・航空関係の学会	製造工学・製造管理などを対象にした学会
N D L 所蔵状況	1963年から現在まで所蔵 (欠号あり)	1958年から2001年まで所蔵 (欠号あり)	1959年から現在まで所蔵 (欠号あり)	1970年から現在まで所蔵 (欠号あり 1973～1976年は未所蔵)
ペーパー番号の一例	AIAA-99-3818、 AIAA-2001-0078	ASME-99-GT-103、 ASME-2001-GT-132	SAE-900148 SAE-990A、 SAE-C4	SME-MS94-221、 SME TP05PUB 142
備 考		2002年以降は紙での発行が中止され、WebサイトでPDF形式で販売している		1969年以前は、ASTME Paperとして、1967～1969年を所蔵
H P の U R L	<a href="http://www.aiaa.org/">http://www.aiaa.org/</a>	<a href="http://www.asme.org/">http://www.asme.org/</a>	<a href="http://www.sae.org/">http://www.sae.org/</a>	<a href="http://www.sme.org/">http://www.sme.org/</a>
学協会のH Pで検索可能な範囲	1963年以降に発行されたペーパー	2002年以降に発行されたペーパー	発行分全て(1907年以降)のペーパー	1952年以降に発行されたペーパー
検索画面へのナビゲーション	(1) Publications & Papers をクリック (2) Search the AIAA Electronic Library-Advanced Search をクリック	(1) ASME Digital Store-Conference Papers をクリック (2) Advanced Search をクリック (3) Advanced Search-Conference Papers で検索	・簡易検索 (1) トップページ中央の検索ボックス横のプルダウンメニューから「Paper」を選択 (2) キーワードを入力して検索  ・詳細検索 (1) トップページの中央「Advanced Search」をクリック (2) プルダウンメニューで「Paper」を選択して検索	(1) トップページ右側の検索プルダウンメニューで「Technical Papers」を選択 (2) キーワードを検索ボックスに入力して検索

# 関西館の資料紹介

## 第7回 科学技術資料—学協会ペーパー

### 【連載目次】

1. 科学技術資料—はじめに (538号)
2. 洋雑誌 (539号)
3. 国内博士論文 (540号)
4. 文部科学省科学研究費補助金研究成果報告書 (541号)
5. 科学技術資料—海外博士論文 (542号)
6. 科学技術資料—欧文会議録 (543号)
7. 科学技術資料—学協会ペーパー (本号)
8. 科学技術資料—テクニカルレポート (次号)
9. 科学技術資料—規格資料
10. アジア資料—中国語資料
11. アジア資料—朝鮮語資料
12. アジア資料—諸地域資料
13. アジア資料—アジアの新聞

<はじめに>

#### ◆ 学協会ペーパーとは

学会および学術団体として活動している協会が、会議開催前に発表者から集めた会議発表論文（プレプリントと呼ばれることもあります）を、一論文一冊の小冊子として刊行した資料があります。これらは、前回紹介した会議録と同様に、会議資料の一つで、国立国会図書館（以下NDL）では「学協会ペーパー」と呼んでいます。

#### ◆ 学協会ペーパーの特徴

会議録は発行されるまでに1年以上かかるものも多く、また最終的に発行されない場合もあるのに比べ、学協会ペーパーは速報性があります。また後に、当該学協会が発行する論文誌に掲載されることや、主題ごとにまとめられて図書として刊行されることもあります。学協会ペーパーは、AIAAなどの機関名の略記号と刊行年や部門等を表す数字や記号を組み合わせた「ペーパー番号」を持ちます。

<国立国会図書館所蔵のおもな学協会ペーパー>

NDLでは、科学技術資料のひとつとして約16万件の学協会ペーパーを所蔵し、関西館に配置しています。形態はほとんどが小冊子で、一部がマイクロ資料です。

NDLが所蔵するおもな学協会ペーパーは、次のとおりです。

# 本を魅せる 常設展示案内 (20)



## 第144回常設展示 「本屋にない本」から

— 納本制度が可能にする資料収集 —

平成18年7月20日～9月19日

国立国会図書館法（昭和23年法律第5号）の定める「納本制度」の下、日本国内で発行された出版物は、頒布の態様や有償・無償の別を問わずすべて国立国会図書館に納めなければならないこととされています。この制度により、当館が収集する資料の中には、通常の流通経路を経ず、一般の書店に並ぶことのない出版物も多く含まれています。

『国立国会図書館月報』では、昭和36年4月の創刊以来「本屋にない本」と題する連載を設け、このような一般の商業流通経路では手に入らない国内出版物のうち、当館が新しく受け入れたものを毎月紹介してきました。これまでに取り上げた資料は、企業・団体が編さんした社史・団体史、美術館や博物館の展示会図録、個人の自費出版本、官庁出版物など、多彩な内容になっています。

今回の展示では、この「本屋にない本」のコーナーで平成元年から平成3年の3年間に紹介された資料の一部を実際にご覧いただけます。展示を予定している資料のいくつかを次にご紹介します。

### 《社史・団体史》

『木村屋総本店百二十年史』 木村屋総本店 1989 <DH22-E215>

アンパンで有名な木村屋の総本店5代の歴史が綴られている。巻末にはサトウハチローが作詞を手がけた木村屋総本店社歌が掲載されている。

### 《自費出版本》

『ロシアソロバンのルーツを求めて』 小林俊之著 1988 <M172-E2>

各桁に10個の玉が付いているロシアソロバンについての研究をまとめた自費出版本。著者は、ロシアソロバンのルーツを探るため、当時のソ連および東欧5か国へ7回の視察を行っている。

### 《その他》

『社内報告 208 新聞投書史論：草創期の読者ジャーナリズム』中島善範〔著〕

c1989：朝日新聞社調査研究室 <US15-20>

新聞草創期である幕末・明治初期の投書を考察した朝日新聞社の社内報告。

※<>内は当館請求記号

なお、展示期間中、展示資料を紹介した『国立国会図書館月報』記事の抜刷を展示コーナーにご用意いたします。本屋では出会うことのできない当館所蔵の興味深い資料をご利用になる際の一助としていただければ幸いです。

\*昭和63年以前に「本屋にない本」で紹介した資料については、その一部が第1回常設展示（平成2年4月23日～5月11日）、第2回常設展示（平成2年5月28日～6月8日）、第3回常設展示（平成2年6月25日～7月6日）ですでに展示されています。



いしざわ あや おくだ ともこ ふじい ともこ  
(石澤 文・奥田 倫子・藤井 朋子)

## 国際子ども図書館

〒110-0007 東京都台東区上野公園12-49

電話 03 (3827) 2053

利用案内 電話 03 (3827) 2069 (音声・FAX サービス)

ホームページ <http://www.kodomo.go.jp/>

国際子ども図書館は、国立国会図書館の支部図書館として内外の児童書とその関連資料に関する図書館サービスを国際的な連携のもとに行います。

**利用できる人** どなたでも利用できます（ただし資料室は満18歳以上の方）。

**資料の利用** 館内利用のみ。館外への帯出はできません。

**開館時間** 9:30～17:00

**休館日** 月曜日、国民の祝日・休日（5月5日こどもの日は除く）、  
年末年始、資料整理休館日（第3水曜日）

**休室日** 休館日以外に次の日が休室となります。

2階第一、第二資料室：日曜日

3階本のミュージアム：展示会準備期間

## 支部東洋文庫

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-21

電話 03 (3942) 0122 (代表)

東洋学の発展を目的とする専門図書館。

アジア全般にわたる資料・研究書を所蔵しています。

---

国立国会図書館月報

平成18年7月号 (No.544)

発行所 国立国会図書館 平成18年7月20日発行 定価231円  
(税込、送料別)

編集責任者 矢部明宏 印刷所 有隣堂印刷株式会社  
発売元

〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1  
電話 03 (3581) 2331 (代表)  
FAX 03 (3597) 5617  
E-mail [geppo@ndl.go.jp](mailto:geppo@ndl.go.jp)

〒140-0004 東京都品川区南品川6-2-10  
電話 03 (5479) 8721 (代表)  
FAX 03 (5479) 8720  
E-mail [cap15650@pop01.odn.ne.jp](mailto:cap15650@pop01.odn.ne.jp)

---

本誌に掲載した論文等のうち意見にわたる部分は、それぞれ筆者の個人的見解であることをお断りいたします。本誌に掲載された記事を全文または長文にわたり抜粋して転載される場合には、事前に当館総務部総務課に連絡してください。本誌517号以降、PDF版を当館ホームページ (<http://www.ndl.go.jp> — 「刊行物」 — 「国立国会図書館月報」) でご覧いただけます。

表紙 中性紙使用

本文 中性再生紙使用

# NATIONAL DIET LIBRARY MONTHLY BULLETIN

No. 544 July 2006

---

---

## CONTENTS

<i>Mincho Shiken</i> (Random notes on rare books, 461) Report of the 14 <sup>th</sup> Conference of Directors of National Libraries in Asia and Oceania (CDNLAO) and the 13 <sup>th</sup> Congress of Southeast Asian Librarians (CONSAL) ..... Hiroshi Sakamoto .....	1
Materials recently designated as rare and semi-rare books – Report of the 38 <sup>th</sup> committee on the designation of rare books – .....	4
Japanese Books .....	4
Western Books .....	11
.....	
Books not commercially available .....	12
Publications from NDL .....	12
Tidbits of information on NDL .....	14
Monthly official report .....	15
Collections of the Kansai-kan (7) .....	25
"Books not Commercially Available" – Acquisition of materials by the Legal Deposit System (Enchanting world of books – Guide to regular exhibition, 20) .....	26
.....	
<Announcement> Announcement of regular exhibition .....	14
<Invitation> ILCL Lecture Series on Children's Literature FY2006 – utilizing the ILCL collections .....	16
Invitation to the 10 <sup>th</sup> Preservation and Conservation Training Program .....	17
Training program on digitization FY2006 .....	18
<Announcement> WARP goes into full-scale operation and full-text search of its contents is available .....	18
Introductory tour of the gallery related to the exhibition at the ILCL .....	19
Temporary change of opening hours at the ILCL on August 18 .....	19
Digital exhibition "Modern Japan in Archives" now available on the NDL website .....	20
Call for participation in the user questionnaire survey .....	21
Energy conservation measures in the NDL .....	21

---

---

NATIONAL DIET LIBRARY

Tokyo